

平重爾 ひらしげ 詩人。明治二十八年六月九日長崎縣生れ、昭和五十八年一月十九日歿（一九五—八三）。筆名葛庭（一勢）。昭和五年早稲田大學文學部國文科卒。在學中渡邊渡、村田（夫）、安藤（一郎）等を知り、同人誌『青嶽』、『花畑』を發刊。次（ついで）第一詩集『蕙』（昭和四年刊）を上梓した。卒業後歸郷して縣廳勤務、教職等も過す。この間（かん）七年から雜誌『長崎文學』の編輯（しんぎん）を當り、評論、詩を發表。詩集數冊の他、評論『萩の蕙翁』（昭和十四年一月十日長崎・自刊）がある。

